

## 心理学部臨床心理学科のカリキュラムツリー

心理学の専門性を備えて社会の中で自らの心の健康のみならず、対人関係の調整やストレスへの対処などに関する専門的な知識を持ち、人間関係の調整に役立つスキルを備えた社会人を育成する。臨床心理学科では、基礎心理学と臨床心理学をバランスよく学び、現代社会における多様なニーズに応え、地域社会や職場、家庭におけるさまざまな問題に心理学の観点からアプローチする人材を養成する。

### ディプロマ・ポリシー

- DP1：変化する社会に対応し、周囲の人たちと協働しながら、生涯にわたり主体的に学び続ける意欲・態度を修得している。  
 DP2：社会人として、自分や周囲の人たちの心の健康に関する心理学の基礎的な知識・技能を修得している。  
 DP3：社会人として、多様な人間関係を理解し、対応するための心理学の基礎的な知識・技能を修得している。  
 DP4：実証科学としての心理学の観点に立ち、適切に情報を処理し、現代社会の諸問題を解決するための基礎的な思考力・判断力・表現力を修得している。

4年	後期																										
前期											キャリアデザイン総合演習2	卒業研究												心理実習			
3年	後期										キャリアデザイン2	キャリアデザイン総合演習1	心理学特殊演習2	心理学コンピュータ演習	心理学発展研究演習						心理的アセスメント2	心理学的支援法2	心理演習		人間関係論	障害者・障害児心理学	社会福祉学特講
前期										キャリアデザイン1		心理学特殊演習1		心理学調査概論		神経・生理心理学		教育・学校心理学2		心理的アセスメント1	心理学的支援法1				産業・組織心理学	精神疾患とその治療	社会福祉学2
2年	後期			英語C2		韓国語2						心理学基礎演習2		心理学実験2		視覚心理学		教育・学校心理学1		福祉心理学	司法・犯罪心理学	公認心理師の職業			人体の構造と機能及び疾病	関係行政論	社会福祉学1
前期			英語C1		韓国語1						心理学基礎演習1		心理学統計法2	心理学実験1			学習・言語心理学	発達心理学2		臨床心理学特講	感情・人格心理学		社会・集団・家族心理学2		健康・医療心理学		
1年	後期	フレッシュャーズセミナー2		英語A2	英語B2		健康・スポーツ2	人文科学分野 倫理の世界 文学の世界	社会科学分野 暮らしのなかの法 政治学入門	自然科学分野 生命の科学 食品の科学			心理学統計法1	心理学研究法		知覚・認知心理学	発達心理学1		臨床心理学概論			社会・集団・家族心理学1					
前期	フレッシュャーズセミナー1	日本語リテラシー	コンピュータリテラシー	英語A1	英語B1		健康の科学 健康・スポーツ1	哲学の世界 ことばの科学 心理学概論	法学入門 社会学入門 災害からの復興	自然科学のあゆみ 健康と薬 統計のしくみ						心理学への招待											
		初年次教科科目	リテラシー教育科目	外国語教育科目			健康・スポーツ教育科目	一般教養科目				キャリア教育分野	ゼミ・卒業研究分野	研究法分野	基礎心理学分野	教育・発達心理学分野	臨床心理学分野	社会・産業心理学分野	健康・医療分野	関連分野							
							全学共通教育科目										専門教育科目										

### カリキュラム・ポリシー

- CP1：1年次には、「大学での学び」への導入教育を行うとともに、日本語・英語・情報リテラシーの基本能力と基礎的教養の修得、ならびに健康に関する基礎的な知識を身につけるための教育を行う。そのため、全学共通教育科目のなかに、初年次教育科目、リテラシー教育科目、外国語教育科目、健康・スポーツ教育科目、ならびに一般教養科目を配置する(DP1と対応)。  
 CP2：社会人として必要な知識や技能を修得するとともに、働くことを通して社会に貢献する態度や意欲を醸成する教育を行うため、専門教育科目のなかに、キャリア教育分野を配置する(DP1と対応)。  
 CP3：基礎的なアカデミックスキル、ならびに専門性の高い心理学の知識・技能を修得するため、専門教育科目のなかに、ゼミ・卒業研究分野を配置する(DP1、2、3、4と対応)。  
 CP4：心理学の研究法や科学的な見方・思考法といった技能の修得をするための教育を行う。そのため、専門教育科目のなかに、研究法分野を配置する(DP4と対応)。  
 CP5：基礎から応用にいたるまで幅広い心理学の知識の修得をするための教育を行う。そのため、専門教育科目のなかに、基礎心理学分野、教育・発達心理学分野、臨床心理学分野、社会・産業心理学分野、健康・医療分野、ならびに関連分野を配置する(DP2、3と対応)。  
 CP6：専門教育科目では、心理学を体系的に学修するため、1、2年次には心理学の基礎的な知識・研究法を修得するための教育を行い、3年次からはより専門性の高い心理学の知識・研究法を修得するための教育を行い、4年次配当科目の「卒業研究」で4年間の学修の総括を行う(DP1、2、3、4と対応)。  
 CP7：卒業後、公認心理師を目指す学生には、公認心理師受験資格が取得できるよう、全学共通教育科目と専門教育科目のなかに、公認心理師法が定める「公認心理師になるために必要な科目」を配置する(DP1、2、3、4と対応)。

### アドミッション・ポリシー

- AP1：人の心や行動について学んだことを活かして社会で活躍し、社会の発展に貢献したい人  
 AP2：心理学を学ぶ上で必要とされる基礎学力(国語・英語)を身につけている人  
 AP3：基本的なコミュニケーション力を身につけている人  
 AP4：人間や社会に対する強い関心を持っている人  
 AP5：思考・意欲の両面で積極的な人